

平成 28 年 1 月 28 日

東京学芸大学附属図書館の使命と目標、取り組み

2016～2021

附 属 図 書 館

東京学芸大学の基本的な目標

東京学芸大学は、教育を通しての社会変革を主導する大学として、知識基盤社会の進展・グローバル化の展開・教育的課題の多様化・地域社会の疲弊という現代社会の特徴に対して、協働して課題を解決する力・多様性を尊重する力・自己を振り返り、自己を表現する力・新しい社会を想像する力という四つのちからを持った次世代の子どもの育成するための人材養成を使命とする。(第三期中期目標(素案)前文より抜粋)

東京学芸大学第3期中期目標期間におけるビジョン

- 次世代育成教育を担う教員の養成と研修
- 次世代育成教育の実現に向けた教育現場の支援
- 次世代育成教育のための研究と、次世代育成教育モデルの発信

東京学芸大学附属図書館の使命

東京学芸大学附属図書館は、大学の使命を果たしそのビジョンを実現するために、質の高い学術情報を提供し、教育研究及び学生の学修を支援する拠点の一つとして機能する。また、教育現場の支援のために地域社会との連携を進めるとともに、さらに世界に向けて本学の研究成果を発信する。

東京学芸大学附属図書館の目標

- 学術情報基盤の整備
次世代育成教育を主導していくため、新たな教育研究基盤の確立に寄与するため質の高い学術情報を提供する。
- 学生の学修を支援する拠点の一つとして機能
次世代育成教育を担う教員・教育支援者の養成のため、学修支援環境の整備を行い、特に学生のアクティブ・ラーニングを支援する。
- 教育現場の支援のために地域社会との連携を進める
図書館の活動を通して現職教員や地域の活性化に貢献する。
- 世界に向けて研究成果の発信をする
本学の研究成果を社会に発信し、次世代育成教育の推進に努める。